

I.F.U.W.会員の親睦と レクリエーション

山崎文子

総会前の旅

フランクフルトで同行の方々とわかれ、三宅さんは「ライン川の旅」へ参加するため汽車で四時間ほどライン川下流のコブレンツにゆきました。古風な駅の広場の向側にあるホテルに夕方つきました。大きな洗面所に大きな浴槽のついている天井の高い、いかにもヨーロッパらしい三階の部屋でした。見下す駅前広場には真中にベンチが二、三台、そのそばにタクシーが五、六台、その隣りに交番があって、夜おそくどこからともなくひとりふたりと人が来てタ

クシーにのっては去ってゆ

きまし、またくるまは帰つて来ます。妙に静まつていて落

ちつかない夜を過ごしました。次の朝ホテルから近いライン川の橋を渡つて、向側の船着場から三宅さんと私は遊覧船に乘みました。

広いキャビンの両側に長いテーブルが窓に直角に並んでいて、そこで先者の会員達に迎えられました。

お互いに自己紹介をすると、すぐ十年の知己のように楽しい話がはずんで来ました。どこの国の人も大

学婦人連盟の会員のカラーは同じで、様子も興味も同じようでした、外国に来た

旅のおわりに近くロウダ

ーインの巨岩のそばをすぎて船中で美しい「ローライ」

の音楽が流れた頃は、ロマントックな旅愁に浸つてお

りました。マイナスで舟旅はおわり

バスでタ暮にカールスルーエにつきました。

十日夜の音楽会はG.A.U.W.の主催の、会場でピアノコンサートでした。クラシ

ックではモザート、ベトウ

、エドン(ワルトン)シニュタイン

、ソナタショパン(エチュード全部)近代音楽ではドイツ音楽の粹を、婦人音楽家

の上に腰かけてひとり城の下

に渡ります。甲板にて歩いた。スイス國境近くドイツに入つて、ずっとドイツの南

方を流れボン、ケルンをそ

の川岸にもつて、オランダに入ることの川は、アウトバーンとともにどんなにかド

ーラーの南方のブラックフ

ォレスト日帰り旅行は、人

数が多いためバス五、六台に分乗して中食はわかれわかれの地方のレストランで

十三日の小劇場は役者の勝れた演技とドイツ語のニュアンスを楽しめて頂きました。十一日のカールス

・ルーエの南方のブラックフ

ライの巨岩のそばをすぎて

旅の疲れはゆるやかで、水まで水がみちていることであります。流れはゆるやかで、水が深かそうです。大きな貨物船、遊覧船、帆船、ヨット等が悠々とのぼり下りしています。甲板にて歩いた。ところは、两岸に草むらや石

がなく、ひたひたと端

に入るこの川は、アウトバーンとともにどんなにかド

ーラーの南方のブラックフ

ライの巨岩のそばをすぎて

旅の疲れはゆるやかで、



7名の日本代表の方々 (中央は藤田タキ氏左から2人目筆者)

第11回 汎太平洋東南アジア婦人会議

国際第一委員長 大島清子

この度の大会は去る八月一二日から三日までホノルルで開催された。会場はハワイ大学裏マヌアバレーに緑の木々に囲まれて美しく建てられたミド・パシフィク・イン・テ・チュート(男女共学の短大)が当たられ、宿舎はその寮であった。

大会出席者は、オーストラリヤ一九人、フィリピン一八人、トンガ五人、米本土一四人、アメリカンサンサモア一人、西サモア一人、合計一三カ国一四三人であった。

本大会は一九二八年ホノルルで開かれた第一回から満四〇年目なので、日本代表もそれに出席した日本P委員長藤田たき氏、同会計市川房枝氏は特にこの記念大会に出席するよう本部から招かれ、それに同書記白石つぎ氏、友の会の吉岡

クシイによって起る諸問題

その中に教育、家族計画、食糧、住宅、貿易等があげられている。前米国兒童局長エノックス女史はこの主

題について一般論を講演、住宅問題はハワイ大学内イ

ーストウエストセンターのレデンドハイム博士が、地方

から招かれ、それに同書記

白石つぎ氏、友の会の吉岡

から招かれ、それによく印象深く樂しくなった。

創立四十周年記念大会は一八日夕、ウイロー・レストラ

ンで開かれ、第一回の時の運営がなされた。

藤田たき氏は、各國から來

た。

最後に会長その他の役員

選舉が行われ、わが代表

会期中各国自慢の手工芸品が別室に展示され、日本

からも出品、和紙製品等大

い人氣を呼んだ。

次に接待委員により計

画されたビショブミニア

うな行事があつたのは残念

者として取扱つて下さつて止まない。

会長のことば

会長 氏 家 寿 子

副会長 竹内 和子
(お茶大)
書記 福永 (大阪女大)
会計技 キク子
(実践女大)
監事 北村 孝
(東京女大)
書記 福永 (お茶大)
会計技 キク子
(実践女大)
監事 北村 孝
(東京女大)
野見山不二

次期役員推薦指名
委員会報告
満期役員四名次期改選
の件につき委員会を招集、各支部から提出され
た推薦指名書を審議し、
左の四氏を引きつき次
期役付理事ならびに監事
候補として推薦する事と
決定した。

会長 氏 家 寿 子



終が会

